第5 達成目標一覧

5 達成目標一覧 目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況(H30)
基本施策1 時代を切り拓く力の育成		,
柱① 社会的・職業的自立に必要な能力を育成する		
取組1 時代に応じたキャリア教育の充実		
(1) 小・中学校におけるキャリア教育全体計画の作成状況	小 77.0%	小 100%
	中 79.3%	中 100%
(2) 将来就きたい仕事や夢について児童に考えさせる指導	70.0%	100%
をしている小学校教員の割合		
(3) 3日以上の職場体験を実施している中学校の割合	74.0% (H24)	85%
(4) 公立高校全日制における高校3年間でインターンシッ	34.6% (H24)	50%
プに参加したことがある生徒の割合		
取組2 より実践的な職業教育の推進	20 50/ (110.1)	1000/
(1) 公立専門高校全日制における高校3年間でインターン	69.5% (H24)	100%
シップに参加したことがある生徒の割合	00 00/ (1104)	1000/
(2) 全日制専門高校の新卒者の進路希望達成率	98.6% (H24)	100%
(進路希望達成者/卒業者) 取組3 特別な支援を必要とする生徒への就労支援の充実		
収組3 特別な文後を必要とりる生徒への別方文後の元美 (1) 県立特別支援学校高等部卒業生の一般就労率	35. 5% (H24)	40%
(1) 水平水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水	(全国の平均27.7%)	40 /0
(2) 就労支援員の就業体験先の新規開拓件数	228件(H24)	300件
(3) 介護人材育成研修会参加生徒数(年間の延べ人数)	72名	90名
柱② 文化芸術教育と郷土に誇りをもてる学びを推進する	12×H	ООУД
取組4 文化芸術や尾瀬学校等の郷土資源を活用した学びの)推進	
(1) ふるさと(地域の歴史、伝統や文化、自然等)のよさを	小 96.9%	小 100%
生かした特色ある教育活動をしている小・中学校の割合	中 80.5%	中 100%
(2) 住んでいる地域の歴史や自然について関心がある小・	小6 66.3%	小6 80%
中学生の割合	中3 41.0%	中3 80%
(3) 尾瀬学校に参加している小・中学生の人数	11,224人(H24)	20,000人
(4) 全国高等学校総合文化祭における入賞数	4	8
取組5 古代東国文化をはじめとした文化遺産を活用した学		1
(1) 中学校の歴史的分野の授業において、東国文化副読本	43.0%	100%
を活用した学校の割合	0.017111./220.1	= 0 177 / 1
(2) 県埋蔵文化財調査センター発掘情報館の展示解説や体	36団体(H24)	50団体
験学習プログラムを教育活動に利用した団体数	<u>-</u>	
柱③ 国際的視点に立ち、自らの考えを発信できる力を育成 取組6 国際理解教育の充実	490	
収組 0 国际連牌教育の元美 (1)総合的な学習の時間で「国際理解」をテーマに取り組	44.9%	60%
んでいる小・中学校の割合	77. 9 /0	00 /0
(2) 高校生の海外研修者数及び留学者数	313人(H24)	400人
取組7 豊かな語学力の育成を目指した外国語教育の推進	010/(1121)	100,0
(1) 中学校において実用英語検定3級以上相当の英語力を	中3 37.1%	中3 50%
有する生徒の割合		
(2) 県立高校において実用英語検定準2級相当以上の英語	高3 36.2%	高3 60%
力を有する生徒の割合		
(3) 中学校において授業の半分以上の時間、生徒が英語で	48.8%	80%
活動している割合		
基本施策 2 確かな学力の育成		
柱④ 基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに学習		
取組8 基礎的・基本的な知識・技能を活用し課題解決を図		T
小・中学校(1) 「全国学力・学習状況調査」における全国	小6 -1.9	小 6 +2.0
の平均正答率との差(小学校)	H-0 1-3 1	H-0
小・中学校(2) 「全国学力・学習状況調査」における全国	中3 +1.4	中3 +3.0
の平均正答率との差(中学校)		

目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況 (H30)
高校(1) 学習内容の確実な定着を図るための学び直しや思	4校	10校
考力・判断力・表現力等を育成する協同学習を重点的に		
行う推進校の数		
高校(2) 公立高校における進路希望達成率	90.8% (H24)	95%
(進路希望達成者/卒業者)		
取組9 しっかりとした学習習慣・生活習慣の確立	1 0 00 50/	1.0 700/
(1) 家庭等での学習時間が1日当たり平均1時間以上の小	小6 63.5%	小6 70%
・中学生の割合 (2) 毎朝、同じくらいの時刻に起きている小・中学生の割	中3 74.1% 小6 91.9%	中3 80% 小6 95%
(2) 母朝、同じくらいの時刻に起さている小・中子生の割 合	中3 93.4%	中3 95%
(3) 県立高校における欠席率	全日制 2.0%(H24)	全日制 1.0%以下
の一条立向状にもののの人間中	定時制 14.5%(H24)	定時制 10.0%以下
柱⑤ 発展的な教育により社会へ参画する力を育成する	/C: 11 1 111 0 / 0 (111 1)	7C: 1101 201 0 70071
取組10 ものづくり産業等へつながる理数教育の推進		
(1) 理科の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出	小5 84.0% (H22)	小5 90%
たときに将来役立つと考えている小・中学生の割合	中2 64.8% (H22)	中2 70%
(2) 理科室で観察や実験をする授業を1クラス当たり週1	小6 65.7% (H24)	小6 70%
回以上行った小・中学校の割合	中3 74.5% (H24)	中3 80%
(3) 将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいと答え	小6 29.3% (H24)	小6 40%
た小・中学生の割合	中3 24.6% (H24)	中3 35%
(4) 科学の甲子園 (予選) 参加高校数	9校	15校
(5) 数学コンテスト参加生徒数	435人	500人
取組11 情報通信技術 (ICT) 活用能力と情報モラルの育	成	T
(1) 小・中学生のICT活用能力	00.10/	1000/
① コンピュータで文字を打つなど基本的操作が身に付いている小学生の割合	89.1%	100%
ている小学生の割合 ② コンピュータ等の情報手段を積極的に活用している中	76.6%	100%
学生の割合	70.070	100 /0
(2) 授業中にICTを活用して指導できる公立学校教員の	66. 9% (H24)	100%
割合		100,0
(3) インターネット利用時に守るべきルールやマナーを身	H26から調査実施	100%
に付けている小・中学生の割合		
取組12 地域を発展させる大学の充実		
(1) 県立女子大学の「群馬学連続シンポジウム」来場者累	10,969人(~H24)	14,000人(~H30)
計数 (H16~)		
(2) 県民健康科学大学における国家試験合格率		
保健師国家試験	100.0% (H24)	100%
看護師国家試験	100.0% (H24)	100%
診療放射線技師国家試験	94. 3% (H24)	100%
(3) 農林大学校の卒業生が就農又は農林業関係産業に就職 する割合	70.0%	80%
9 3 回口 基本施策3 豊かな人間性の育成		
柱⑥ 自他を大切にする心や自己肯定感を育み、規範意識を	高めろ	
取組13 ボランティア活動や体験的な活動の充実	IH 40 0	
(1) 地域社会等のボランティアに参加している小・中学生	小6 39.1%	小6 50%
の割合	中3 52.4%	中3 60%
(2) 母校の小学校におけるボランティアチューターに参加	231人(H24)	280人
している高校生の人数		
(3) 「自然体験活動」「社会体験活動」に係る事業への参	2,435人(H24)	2,800人
加者数(県立青少年自然の家 3施設合計)		

目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況(H30)
取組14 「向上する心」「やりぬく心」「大切にする心」を育	む道徳教育の充実	
(1) 「自分にはよいところがある」と回答した小・中学生	小6 78.9%	小6 100%
の割合	中3 69.9%	中3 100%
(2) 「困っている人を見かけたら進んで助けている」と回	小6 84.5%	小6 100%
答した小・中学生の割合	中3 82.0%	中3 100%
(3) 県立高校で道徳の目標と各教科の学習内容との関連表	4.7%	100%
(※1)を作成している学校の割合	(道徳教育全体計画に)	
	ついてはすべての県	
※1:各教科等の学習内容と道徳教育の目標を結び付けたもの	立高校で作成済み	
取組15 自らの行動につながる人権教育の推進		
(1) 「自分にはよいところがある」と回答した小・中学生	小6 78.9%	小6 100%
の割合【取組14再掲】	中3 69.9%	中3 100%
(2) 「困っている人を見かけたら進んで助けている」と回	小6 84.5%	小6 100%
答した小・中学生の割合【取組14再掲】	中3 82.0%	中3 100%
(3) 人権教育年間指導計画の見直し、改善を実施している	小 70.0% (H24)	全校種 90%
学校の割合	中 66.1% (H24)	
	高 70.5% (H24)	
	特別支援47.4%(H24)	
(4) 人権教育指導者研修の実施回数	8回	各教育事務所におい
		て年1回以上実施
柱⑦ いじめ防止に努め、良好な人間関係を築く力を育成す	`る	
取組16 いじめの早期発見・早期解決		
(1) 認知したいじめのうち、指導の結果、解消した件数の	小 98% (H24)	全校種 100%
割合	中 96% (H24)	,
	高 85% (H24)	
	特別支援100% (H24)	
取組17 いじめを許さない心を育むための児童生徒による自		
(1) 児童会・生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考え	小 57.4% (H24)	全校種 100%
させたり、生徒同士の人間関係や仲間づくりを促進した	中 63.5% (H24)	
学校の割合	高 48.2% (H24)	
	特別支援42.3%(H24)	
(2) PTAや地域の関係団体等とともに、いじめの問題に	/J、 14.3% (H24)	全校種 100%
ついて協議する機会を設けた学校の割合	中 12.9% (H24)	,
	高 6.0% (H24)	
	特別支援 0% (H24)	
(3) 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと	小 96.6%	小 100%
思う」と答えた小・中学生の割合	中 94.9%	中 100%
基本施策4 健やかな体の育成	/ •	,/
柱⑧ 児童生徒の体力向上を図る		
取組18 体力や運動能力向上を目指す体育活動の充実		
(1) 全国実施している新体力テストの自校の結果から明ら	小 57.6%	小 100%
かになった課題を解決するために、学校全体で具体的な	中 31.0%	中 100%
方策を講じている小・中学校の割合		
(2) 新体力テストの結果を基に、自校の体力の状況につい	小 25.0%	小 80%
て家庭や地域に公表している小・中学校の割合	中 16.0%	中 80%
(3) 1日の運動時間が、2時間以上の小・中学生の割合(体	小5(男) 40.5%	小5(男) 50%
育の授業時間を除く。)	小5(女) 18.3%	小5(女) 50%
	中2(男) 69.8%	中2(男) 80%
	中2(女) 52.1%	中2(女) 60%
	小5(男) -1.76	小5(男) +1.0
おける合計得点の全国集計との差	小5(女) -1.79	小5(女) +1.0
	中 $2(男)$ +0.22	中 $2(男)$ +2.0
	中 $2(5)$ + 0.22 中 $2(5)$ + 2.25	中 $2(女)$ +3.0

目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況(H30)
取組19 運動部活動の充実		
(1) 運動部活動への加入率	中(男) 86.7%	中(男) 90%
	中(女) 64.6%	中(女) 70%
	高(男) 63.8%	高(男) 70%
	高(女) 30.7%	高(女) 40%
(2) 運動部活動における外部指導者の活用状況	中 63.9% 355名	中 75% 390名
	高 70.0% 84名	高 75% 100名
(3) 運動部活動運営に関する校内組織(部活動運営委員会	中「H25の数値はH26	中 100%
等)を設置している学校の割合	高しに調査実施予定	高 100%
柱⑨ 児童生徒の心身の健康を保持増進する		
取組20 健全な体づくりを目指す健康教育・食育の推進		
(1) 薬物乱用防止教室を開催している公立小・中学校、県	小 58.7% (H24)	全校種 100%
立高校(全日制)の割合	中 94.6% (H24)	
	高 95.7% (H24)	
(2) 性・エイズ教育講演会を開催している公立小・中学校、	小 60.2% (H24)	全校種 100%
県立高校(全日制)の割合	中 55.4% (H24)	
	高 97.1% (H24)	
(3) 朝食を全く食べない小・中学生の割合	小6 0.5%	小6 0%
	中3 1.2%	中3 0%
(4) 学校給食における県産食材使用割合(食材数ベース)	26.0% (H24)	30%
(重量ベース)	62. 9% (H24)	80%
取組21 感染症やアレルギー疾患への対応を含めた児童生徒		,
(1) 公立学校における心臓検診の二次検診の受診率	小 93.31% (H24)	全校種 100%
	中 90.13% (H24)	
	高 85.20% (H24)	
(2) 公立学校における腎臓検診の二次検診の受診率	小 77.33% (H24)	全校種 100%
	中 53.68% (H24)	
	高 47.21% (H24)	
(3) 公立学校における「校内食物アレルギー対策委員会」	小 59.3%	全校種 100%
の設置状況	中 62.3%	
	高 22.8%	
基本施策5 信頼される学校づくり		
柱⑩ 教員の資質を向上し、互いに高め合う職場づくりを推	進する	
取組22 大量退職に対応したミドルリーダーの育成等による	指導力の向上	
(1) 研修講座等における参加体験型研修の割合	45%	60%
(2) 研修講座における若手教員と中堅教員が学び合う機会	初任者と10年目経験	すべての経験者研修
の拡充	者研修員の交流	相互において実施
取組23 児童生徒に対する心のケアができる力をはじめとし	た新たな課題への対応	力の向上
(1) 公立学校における教員の特別支援教育研修受講率	82.6% (H23)	100% (H29)
		※ 群馬県特別支援教育推進計画おける最
		終目標年
(2) 「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動	小 79.8%	小 100%
をよく行っていると思う」と回答した小・中学生の割合	中 69.5%	中 100%
(3) 不登校の児童生徒数	小 306人(H24)	小 200人以下
	中 1,447人(H24)	中 1,100人以下
	高 729人(H24)	高 600人以下
取組24 教職員が力を十分発揮できる職場の環境整備と健康	管理	
(1) 学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全	「よくしている」	「よくしている」
教職員の間で共有し、取組に当たっている小・中学校の	59.8%	100%
割合		
(2) 公立学校教員の病気休職者に占める精神疾患による休	48.6% (H24)	全国の割合以下
職者の割合	(全国の割合59.5%)	

を設置し、高校教育 改革に係る全県的な 課題を検討 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 地区別再編整備計画 策定に向けた検討 (吾妻地区、富岡・ 甘楽地区、桐生・み どり地区) 取組29 私立学校の振興 (1) 経常費補助金の補助単価水準 (生徒1人当たり補助単価水準) ・高等学校 4位 ・幼稚園 2位 基本施策6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成 柱③ 安全・安心な教育環境を確保する 取組30 学校の耐震化・長寿命化の推進 (1) 県立学校施設(校舎等)の耐震化率(棟数比) 93.6% 時制・通信制課程等 の改革を実施 地区別再編整備計画 に基づく再編整備の の実施又は実施には けた準備(開設準備 会の設置等) ・高等学校 4位 ・幼稚園 2位 基本施策6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成 は③ 安全・安心な教育環境を確保する 取組30 学校の耐震化・長寿命化の推進	目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況(H30)
(1) 特別支援学校の児童生徒が居住する地域の小・中学校の児童生徒との交流を行う率【居住地校交流】 9.8回/校(H24) 12回/校 (3) 特別支援学校と地域の人々との活動【地域交流】 14.1回/校(H24) 18回/校 取組26 特別支援学校のセンター的機能をはじめとした特別支援教育の相談支援の充実 (1) 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校からの特別支援学校への相談件数 (2) 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校からの教育事務所専門組談員への相談件数 (2) 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校からの教育事務所専門組談員への相談件数 (1) 学校の重点課題と関連付けた開かれた学校づくりの結果及び改善策を学校・家庭・地域で共有し、次年度に改善策を反映した学校の割合 (小・中・高・特別支援学校) (2) 連路指導・乾業体験について充実していると感じているなどで表を実施で、環境を全身に対していると感じていると感じていると感じていると感じていると感じていると感じているの改善を変して、高校教育の文章にあると表情を発音を発音を使いていると感じていると感じていると感じていると感じていると感じていると感じていると感じていると表情を発音を発音を発音を発音を表していると感じていると感じていると感じていると感じていると感じていると感じていると感じていると感じていると感じていると感じていると感じていると感じていると感じていると感じていると感じないると思いない。 第単地を関係を発音を発音を発音を発音を発音を発音を発音を発音を発音を発音を発音を発音を発音を			
(2) 特別支援学校と小・中・高校との交流【学校間交流】 9.8回/校(旧24) 12回/校 (3) 特別支援学校と小・中・高校との交流【学校間交流】 14.1回/校(旧24) 18回/校 取組26 特別支援学校のセンター的機能をはじめとした特別支援教育の相談支援の充実 (1) 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校からの特別支 4.632件(旧24) 6.000件接学校への相談件数 (2) 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校からの教育事 3,714件(旧24) 4,000件務所事門相談員への相談件数 (2) 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校からの教育事 3,714件(旧24) 4,000件務所事門相談員への相談件数 (2) 保育所、幼稚園、小学校、市学校、高校からの教育事 3,714件(旧24) 4,000件務所事門相談員への相談件数 (1) 学校の重点課題と関連付けた評価項で共有し、次年度に改善策を反映した学校の割合(小・中・高・特別支援学校)の結果及び改善策を受け、家庭・地域で共有し、次年度に改善策を反映した学校の割合(小・中・高・特別支援学校) 取組28 高校教育改革の推進 (1) 特色ある高校教育の推進 有識者による委員会 を設置し、高校教育 改革に係る全財立 (1) 特色ある高校教育の推進 有識者による委員会 を設置し、高校教育 改革に係る全財立 (2) 進路指導・就業体験について充実していると感じてい 3保護者の割合(特別支援学校)取組28 高校教育改革の推進 (1) 特色ある高校教育の推進 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 地区別再編整備計画 第定に向けた検討 (店妻地区、富岡・ 廿楽地区、福田・ 3人学 2件 2 地区別 (2) 地区別 (2) 連路 (2) 地区別 (3) 年間 (開設準備 (音妻地区、富田・ 1) 大 準備 (開設準備 (書建) 人 2 中編 (開設準備 (主後 1) 人 2 中編 (開設準備 (主後 1) 人 2 中編 (開設準備 (生徒 1) 人 2 中編 (開設準備 (生徒 1) 人 2 中編 (報 2 仲			
(3) 特別支援学校と地域の人々との活動【地域交流】 14.1回/校(旧24) 18回/校 取組26 特別支援学校のセンター的機能をはじめとした特別支援教育の相談支援の充実 (1) 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校からの特別支援学校への相談件数 4,632件(旧24) 6,000件 授学校への相談件数 4,632件(旧24) 4,000件 務所専門相談件数 4,632件(旧24) 4,000件 務所専門相談件数 4,632件(旧24) 4,000件 務所専門相談件数 4,632件(旧24) 4,000件 務所専門相談性数 存色ある学校づくりを推進する取組27 家庭や地域の意見を生かした間かれた学校づくり (1) 学校の重点課題と関連付けた評価項目による学校評価 の結果及び改善策を学校・家庭・地域で共有し、次年度に改善策を反映した学校の割合(小・中・高・特別支援学校) 取組28 高校教育改革の推進 有識者による委員会 大学者選技制度、気を設置し、高校教育の改革を実施 80% 2 を設置し、高校教育 改革に係る全県的な課題を検討 (1) 特色ある高校教育の推進 4 地区別再編整備計画 策定に向けた検討 (音奏地区、高向・ サ楽地区、桐生・み どり地区) 取組29 私立学校の振興 4 地区別再編整備計画 策定に向けた検討 (音表地区、富岡・ ウた準備 (開設準備会の設置等) 取組29 私立学校の振興 4 補助単価水準 (生徒1人当たり補助単価水準) ・高等学校 4位・分稚園 2位 基本施策6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成 100% (旧27) 変 能学報源の手順報を確保する取組30 学校の耐震化・長寿命化の推進 (1) 県立学校施設の長期保全計画の策定 基礎データを調査中 計画策定 (旧27) 変 能学報源録計配は5万度 2 集立学校施設の長期保全計画の策定 基礎データを調査中 計画策定 (旧27) 変 報知31 就(修)学確保のための一層の支援と外国人児童生徒の教育の充実		19. 0% (H24)	50%
取組26 特別支援学校のセンター的機能をはじめとした特別支援教育の相談支援の充実	(2) 特別支援学校と小・中・高校との交流【学校間交流】	9.8回/校(H24)	12回/校
(1) 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校からの特別支援学校への相談件数 (2) 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校からの教育事務所専門相談員への相談件数 (3) 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校からの教育事務所専門相談員への相談件数 (4) 特色ある学校づくりを推進する 取組27 家庭や地域の意見を生かした開かれた学校づくり (1) 学校の重点課題と関連付けた評価項目による学校評価の結果及び改善策を学校・家庭・地域で共有し、次年度に改善策を反映した学校の割合(小・中・高・特別支援学校) (2) 進路指導・就業体験について充実していると感じている保護者の割合(特別支援学校) 取組28 高校教育改革の推進 (1) 特色ある高校教育の推進 (1) 特色ある高校教育の推進 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (3) 地区別再編整備計画の策定及び実施 (4) 地区別再編整備計画(基づく再編整備計画、指述の政事を実施に向けた検討に基づく再編整備計画、保護地区、福岡・甘楽地区、福田・みどり地区) 取組29 私立学校の振興 (1) 経常費補助金の補助単価水準 (生徒1人当たり補助単価水準) (生徒1人当たり補助単価水準) (生徒1人当たり補助単価水準) (生養本施策6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成性の安全・安心な教育環境を確保する取組30 学校の耐震化・長寿命化の推進 (1) 県立学校施設(校舎等)の耐震化率(棟数比) (2) 県立学校施設の長期保全計画の策定 基礎データを調査中報を開きる事業を確保する取組30 学校の耐震化・長寿命化の推進 (1) 県立学校施設の長期保全計画の策定 基本施策6 安全・安心な教育環境を確保する取組31 就(修)学確保のための一層の支援と外国人児童生徒の教育の充実			1 17 12 4
提学校への相談件数			
接回 特色ある学校づくりを推進する 取組27 家庭や地域の意見を生かした開かれた学校づくり (1) 学校の重点課題と関連付けた評価項目による学校評価 の結果及び改善策を学校・家庭・地域で共有し、次年度に改善策を反映した学校の割合(小・中・高・特別支援学校) (2) 進路指導・就業体験について充実していると感じてい		4,632件(H24)	6,000件
取組27 家庭や地域の意見を生かした開かれた学校づくり (1) 学校の重点課題と関連付けた評価項目による学校評価 の結果及び改善策を学校・家庭・地域で共有し、次年度に改善策を反映した学校の割合(小・中・高・特別支援学校) (2) 進路指導・就業体験について充実していると感じている保護者の割合(特別支援学校) 取組28 高校教育の推進 有識者による委員会 た設置し、高校教育の推進 有識者による委員会 内学者選抜制度、双路組28 高校教育の推進 有識者による委員会 内学者選抜制度、双路組28 高校教育の推進 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 地区別再編整備計画 策定に向けた検討 に基づく再編整備計画 第定に向けた検討 に基づく再編整備計画 (吾妻地区、福岡・甘楽地区、桐生・み どり地区) 取組29 私立学校の振興 (1) 経常費補助金の補助単価水準 (生徒1人当たり補助単価水準) 「高等学校 4位会の設置等) 取組29 私立学校の振興 (1) 集業を修改 (大当を開助して、新生・		3,714件(H24)	4,000件
取組27 家庭や地域の意見を生かした開かれた学校づくり (1) 学校の重点課題と関連付けた評価項目による学校評価 の結果及び改善策を学校・家庭・地域で共有し、次年度 に改善策を反映した学校の割合(小・中・高・特別支援 学校) (2) 進路指導・就業体験について充実していると感じてい る保護者の割合(特別支援学校) 取組28 高校教育改革の推進 (1) 特色ある高校教育の推進 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (3) 地区別再編整備計画の策定及び実施 (4) 地区別再編整備計画の策定及び実施 (5) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (6) 地区別再編整備計画 (7) 東連区、高岡・			
(1) 学校の重点課題と関連付けた評価項目による学校評価 の結果及び改善策を学校・家庭・地域で共有し、次年度に改善策を反映した学校の割合(小・中・高・特別支援学校) (2) 進路指導・就業体験について充実していると感じている保護者の割合(特別支援学校) 取組28 高校教育改革の推進 (1) 特色ある高校教育の推進 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (3) 地区別再編整備計画 策定に向けた検討 は基づく再編整備計画 策定に向けた検討 けた準備(開設準備とり地区) は大連備(開設準備とはまり、10条準値(生徒1人当たり補助単価水準 ・高等学校 4位・幼稚園 2位 基本施策6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成性 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成 東銀30 学校の耐震化・長寿命化の推進 (1) 県立学校施設(校舎等)の耐震化率(棟数比) 93.6% 100%(H27)※ 東立物産設修計画に対ち記て 養味			
の結果及び改善策を学校・家庭・地域で共有し、次年度 に改善策を反映した学校の割合(小・中・高・特別支援 学校) (2) 進路指導・就業体験について充実していると感じてい る保護者の割合(特別支援学校) 取組28 高校教育改革の推進 (1) 特色ある高校教育の推進 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (3) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (4) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (5) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (6) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (7) 地区別の再編整備計画 策定に向けた検討 (音奏地区、富岡・ 甘楽地区、桐生・み どり地区) (6) 技術費補助金の補助単価水準 補助単価水準 (生徒1人当たり補助単価水準) 点の設置等) (6) 基本施策6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成 (6) 技術費を全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成 (7) 集立学校施設の長期保全計画の策定 (8) 第30 学校の耐震化・長寿命化の推進 (9) 県立学校施設の長期保全計画の策定 (1) 県立学校施設の長期保全計画の策定 (2) 県立学校施設の長期保全計画の策定 (4) 基本修業6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成 静度 安全・安心な教育環境を確保する 取組30 学校の耐震化・長寿命化の推進 (1) 県立学校施設の長期保全計画の策定 (2) 県立学校施設の長期保全計画の策定 (3) 基礎データを調査中 計画策定 (127) ※ 単純純軟味、報覧記刊を記しませ、単純・大阪・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		H26から調査実施	100%
(2) 進路指導・就業体験について充実していると感じている保護者の割合(特別支援学校)取組28 高校教育改革の推進 (1) 特色ある高校教育の推進 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (3) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 (4) 地区別再編整備計画 策定に向けた検討 (吾妻地区、高岡・甘楽地区、桐生・みどり地区) (5) 地区別の再編整備計画 策定に向けた検討 (店基づく再編整備の り実施区は実施に同けた 強討 (名妻地区、福田・ ・	に改善策を反映した学校の割合(小・中・高・特別支援		
取組28 高校教育改革の推進	1	H26から調査実施	80%
を設置し、高校教育 改革に係る全県的な 課題を検討 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 地区別再編整備計画 策定に向けた検討 (吾妻地区、富岡・ 甘楽地区、福生・み どり地区) 取組29 私立学校の振興 (1) 経常費補助金の補助単価水準 (生徒1人当たり補助単価水準) 基本施策6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成 柱(第 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成 柱(1) 実立学校施設(校舎等)の耐震化・長寿命化の推進 (1) 県立学校施設(校舎等)の耐震化率(棟数比) 第3.6% 100% (H27) ※ 県立粋耐震が計画に対る完了 養柱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
改革に係る全県的な 課題を検討 の改革を実施 (2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施 地区別再編整備計画 策定に向けた検討(吾妻地区、富岡・甘楽地区、桐生・みどり地区) 地区別再編整備計画に基づく再編整備の実施又は実施に同けた検討(日本の実施とは実施に同けた準備(開設準備をの実施とは実施に同けた準備(開設準備をの実施とは実施に同けた準備(開設準備をの実施とは実施に同けた準備(開設準備をの設置等) 取組29 私立学校の振興 補助単価の全国順位(生徒1人当たり補助単価水準) 補助単価の全国順位・高等学校 4位・幼稚園 2位 基本施策6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成性 ・高等学校 4位・幼稚園 2位 基本施策6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成性 ・3000 100%(旧27)※単立物制験が制定がな完了標準度 (1) 県立学校施設(校舎等)の耐震化率(棟数比) 93.6% 100%(旧27)※単立物制験が制定がな完了標準度 (2) 県立学校施設の長期保全計画の策定 基礎データを調査中 計画策定(H27)※平成が年度末調査に下定 取組31 就(修)学確保のための一層の支援と外国人児童生徒の教育の充実	(1) 特色ある高校教育の推進	有識者による委員会	入学者選抜制度、定
(2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施		改革に係る全県的な	時制・通信制課程等の改革を実施
### 第定に向けた検討 に基づく再編整備の (吾妻地区、富岡・ 甘楽地区、桐生・み どり地区) に基づく再編整備の 実施又は実施に同けた検討 けた準備 (開設準備 会の設置等) をの設置等) (1) 経常費補助金の補助単価水準 補助単価の全国順位 (生徒 1 人当たり補助単価水準) ・高等学校 4位・ 幼稚園 2位 基本施策6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成 (担望 安全・安心な教育環境を確保する 取組30 学校の耐震化・長寿命化の推進 (1) 県立学校施設(校舎等)の耐震化率(棟数比) 93.6% 100% (H27) ※ 東立学校施設の長期保全計画の策定 基礎データを調査中 計画策定 (H27) ※ 東本語の表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表	(2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施		地区別再編整備計画
(吾妻地区、富岡・ 甘楽地区、桐生・み どり地区) の実施又は実施に同 けた準備 (開設準備 会の設置等) 取組29 私立学校の振興 (1)経常費補助金の補助単価水準 補助単価の全国順位 (生徒 1 人当たり補助単価水準) ・高等学校 4位 ・幼稚園 2位 基本施策 6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成 桂⑬ 安全・安心な教育環境を確保する 取組30 学校の耐震化・長寿命化の推進 (1)県立学校施設(校舎等)の耐震化率(棟数比) 93.6% 100% (H27) ※ 県立特価設が影計配おける完了 権料度 (2)県立学校施設の長期保全計画の策定 基礎データを調査中 計画策定 (H27) ※ 平成路件度に調査完了形定 取組31 就(修)学確保のための一層の支援と外国人児童生徒の教育の充実	(E) - CE POV - 14 MINER WINDER - 15 MINER -		
取組29私立学校の振興補助単価の全国順位 ・高等学校 4位 ・幼稚園 2位補助単価水準の維持(生徒1人当たり補助単価水準)・高等学校 4位 ・幼稚園 2位・幼稚園 2位基本施策6安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成住③ 安全・安心な教育環境を確保する 取組30学校の耐震化・長寿命化の推進(1) 県立学校施設(校舎等)の耐震化率(棟数比)93.6%100% (H27) ※ 県立学校耐震が診計画における完了標件度(2) 県立学校施設の長期保全計画の策定基礎データを調査中 ・ 計画策定(H27) ※ 平成36年度末に調査に予定取組31就(修)学確保のための一層の支援と外国人児童生徒の教育の充実		(吾妻地区、富岡・	の実施又は実施に向
(1)経常費補助金の補助単価水準 (生徒1人当たり補助単価水準) 基本施策6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成 柱(3) 安全・安心な教育環境を確保する 取組30 学校の耐震化・長寿命化の推進 (1) 県立学校施設(校舎等)の耐震化率(棟数比) (2) 県立学校施設の長期保全計画の策定 取組31 就(修)学確保のための一層の支援と外国人児童生徒の教育の充実		甘楽地区、桐生・み	けた準備 (開設準備 会の設置等)
(生徒1人当たり補助単価水準) ・高等学校 4位 ・幼稚園 2位 基本施策6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成 柱⑬ 安全・安心な教育環境を確保する 取組30 学校の耐震化・長寿命化の推進 (1) 県立学校施設(校舎等)の耐震化率(棟数比) 93.6% (2) 県立学校施設の長期保全計画の策定 基礎データを調査中 計画策定(H27) 取組31 就(修)学確保のための一層の支援と外国人児童生徒の教育の充実			
・幼稚園 2位 基本施策 6 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成 柱(3) 安全・安心な教育環境を確保する 取組30 学校の耐震化・長寿命化の推進 (1) 県立学校施設(校舎等)の耐震化率(棟数比) 93.6% 100% (H27) ※ 県立学校施設の影響における完了標件度 (2) 県立学校施設の長期保全計画の策定 基礎データを調査中 計画策定(H27) 取組31 就(修)学確保のための一層の支援と外国人児童生徒の教育の充実			補助単価水準の維持
柱⑬ 安全・安心な教育環境を確保する 取組30 学校の耐震化・長寿命化の推進 (1) 県立学校施設(校舎等)の耐震化率(棟数比) 93.6% 100% (H27) ※ 県立学校施設の影画における完了 標年度 (2) 県立学校施設の長期保全計画の策定 基礎データを調査中 計画策定 (H27) 取組31 就(修)学確保のための一層の支援と外国人児童生徒の教育の充実	(生徒1人当たり補助単価水準)		
取組30 学校の耐震化・長寿命化の推進93.6%100% (H27) ※ 県立学校施設 (校舎等)の耐震化率 (棟数比)(2) 県立学校施設の長期保全計画の策定基礎データを調査中 ※ 単立学校施設の長期保全計画の策定計画策定 (H27) ※ 平成26年度末に調査完了予定取組31 就(修)学確保のための一層の支援と外国人児童生徒の教育の充実		能力の育成	
(1) 県立学校施設(校舎等)の耐震化率(棟数比) 93.6% 100% (H27) ※ 県立学校耐震攻修計画における完了 標年度 (2) 県立学校施設の長期保全計画の策定 基礎データを調査中 計画策定 (H27) ※ 平成26年度末に調査完了予定 取組31 就(修)学確保のための一層の支援と外国人児童生徒の教育の充実			
※ 県立学校耐震攻修計画における完了 標年度			
版組31 就(修)学確保のための一層の支援と外国人児童生徒の教育の充実	(1) 県立学校施設(校舎等)の耐震化率(棟数比)	93.6%	※ 県立学校耐震改修計画における完了目
取組31 就(修)学確保のための一層の支援と外国人児童生徒の教育の充実	(2) 県立学校施設の長期保全計画の策定	基礎データを調査中	
(1) 中学校を卒業した外国人生徒のうち、就職又は進学し 92.7%(H24) 100%	取組31 就(修)学確保のための一層の支援と外国人児童生徒	の教育の充実	
た者の割合		92.7% (H24)	100%
(2) 日本語指導が必要な児童生徒のうち、日本の学校に 5 20.5% (H24) 10%以下 年以上在籍している者の割合	(2) 日本語指導が必要な児童生徒のうち、日本の学校に5	20.5% (H24)	10%以下
柱⑭ 災害等から身を守る力の育成と児童生徒の安全の確保を地域ぐるみで推進する		を地域ぐるみで推進す	· 3
取組32 学校・家庭・地域が連携した防災教育の推進			
(1) 学校安全計画に、災害安全に関する職員研修の内容が 86.1%(H24) 100% 盛り込まれている学校の割合	(1) 学校安全計画に、災害安全に関する職員研修の内容が	86.1% (H24)	100%
(2) 児童生徒等の安全確保を図るため、家庭や地域の関係 81.1%(H24) 100% 機関・団体との間で協力要請や会議を開催している学校	(2) 児童生徒等の安全確保を図るため、家庭や地域の関係	81.1% (H24)	100%
(3) 避難訓練の実施に際して、「自分自身が主体的に行動 する態度」の重要性について指導した学校の割合	(3) 避難訓練の実施に際して、「自分自身が主体的に行動	83.9% (H24)	100%

目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況 (H30)
取組33 学校や通学路、地域における安全確保と安全教育の	充実	
(1) 通学路の安全確保のために、関係機関等(県・市町村	95.8% (H24)	100%
教育委員会、保護者、警察、道路管理者、地域の関係者		
等)との連携を図っている学校の割合		
(2) 児童生徒を対象とした防犯教室を実施している小・中	83.7% (H24)	100%
学校の割合		
(3) 児童生徒等の自転車事故発生人数	1,233人(H24)	1,000人以下
基本施策7 地域の教育力の向上と生涯学習社会の構築		
柱⑮ 幼児教育の充実を図るとともに家庭教育や子育ての支	援を推進する	
取組34 幼児期の成長と子育てを支援する社会づくり		
(1) 地域子育て支援拠点数	127箇所	208箇所(H29)
		※ 次世代育成支援対策推進後期行動計画
		における最終目標年
(2) 保育アドバイザーの派遣回数	年間78回(H24)	年間100回
(3) 幼児教育推進のための指導資料の活用割合	公立 90.4%	公立 100%
(4) 教育課程編成に係る連携を小学校と行っている園の割合	公立 21.7% (H24)	公立 100%
取組35 市町村や民間団体と連携した家庭教育支援の推進		
(1) 子育て支援者研修会への参加者数	50人	150人
(2) 家庭教育カウンセリング専門講座修了者の計画推進期	246人(H21~25)	300人(H26~30)
間中の累計数		
柱⑯ 社会教育を推進し地域の教育力を高める		
取組36 地域の学びを支える人材づくり		
(1) 地区別PTA指導者研修会の参加人数	1,254人	1,400人
(2) 「まなびねっとぐんま」講師・人材情報登録数	256人	300人
取組37 青少年教育の推進		
(1) 県立青少年教育施設の利用者数	110, 196人 (H24)	120,000人
(青少年自然の家・群馬県青少年会館 4施設合計)		
(2) 「自然体験活動」「社会体験活動」に係る事業への参	2,435人(H24)	2,800人
加者数(県立青少年自然の家3施設合計)【取組13再掲】		
(3) 「少年の日」、「家庭の日」普及啓発応募作品数	標語 9,679点	標語 10,000点
	絵画・ポスター1, 406点	絵画・ポスター 3,000点
取組38 学校支援センター等の充実		
(1) 学校支援センターが機能していると答えた小・中学校	79.7%	100%
の割合		
(2) 年間の学習計画に地域の教育力を生かした学習を位置	79.8% (H24)	100%
付けている小・中学校の割合		
(3) 児童生徒を地域行事等に参加させている小・中学校の	83.4%	100%
割合		
柱団 生涯にわたる多様な学びを推進する		
取組39 読書活動の充実と県立図書館の機能強化		I
(1) 1日当たり30分以上の読書をしている小・中学生の	小 40.4%	小 50%
割合	中 33.1%	中 50%
(2) 公立図書館と連携している小・中学校の割合	小 53.2% (H24)	小 60%
※調査は隔年実施	中 32.3% (H24)	中 50%
(3) 県立図書館におけるレファレンスサービス件数	= td / \	0 1/2
(事柄や事実調査、文献 調査等の専門的情報提供サー	7,999件(H24)	9,600件
ビスの件数。利用相談(書架案内や所蔵調査)は除く。)		
取組40 多様な課題に対応した学習機会の充実	0.5501/ ****	7 000 1 / 200
(1) ぐんま県民カレッジ入学者累計 (H12~)	6,570人(~H24)	7,000人(~H30)
(2) ぐんま県民カレッジ連携機関数	536機関(H24)	600機関